

皆さま、今日は！お元気ですか？

今回は、こがっち通信だけです。ごめんね。

まず、禅の会の事を先にお知らせします。

今月、3月18日の禅の会は、小石原森の家で開催とお伝えしておりましたが、森の家が火災報知機の誤作動で使用許可可せず、今回は、小倉の菅原神社へ会場を変更いたしました。開催時間も、9時45分～正午です。お間違え無きようよろしくお願い致します。このまま今後の予定をお知らせいたします。お付き合下さいね♡

さて、前回のこがっち通信でお知らせしました、3月31日の「みんなの学校 みんなの社会 九州大会」のご参加、ご検討いただけましたか？

小倉駅前のA I Mビルに於いて、一幕から三幕まで、朝9時半スタート、終了は18時半までの長い時間を先生方にも一緒に過ごいただき、みんなで色々な事、感じて、考えて、心が動き、意識が変わり、行動や言葉に繋がりが、言葉となつて…それぞれの皆様の大切な一歩となる一日を作りたいと思っております。

禅の会に参加下さってる皆様、しあわせ通信を読んで下さってる皆様には、大敬先生から大切な事をいつも沢山、沢山教えて頂いていますよね。私は、大敬先生と出会ってから、イノチはひとつである事を教えて頂きました。そして、そして、そのひとつイノチからバラバラになって生まれたそれぞれのイノチは別々

の運命を持ち、私も、あなたも、A君もBさんも、C君も、全く違う場所で自分の人生を通して、数々の経験をしています。大敬先生は手の平を使って、この手の平をひとつイノチとしたら、それぞれが親指であり中指であり小指であり、それぞれの働きは別々だけど、手の平から見ると元はひとつですね。と例えられます。だから、その人たちも実は自分なんだと言う事を教えて頂きました。では、何の為に…？あらゆる経験を通して、最初のひとつイノチより、もう一回りも二回りも大きなひとつイノチへのゴールをみんなと一緒に目指しているのでは？

嫌だよくあんな人が自分の訳ないやん…なんて、思う時、いっぱいありますよね。

でも、見る事は作る事、見方は実型でした。嫌いな人を何度も何度も再生産して、見たくない関わりたくないと思ってしまうんですよ。その人すら自分…、どっちも自分…そんな風に到底思えない…経験ないですか？。きつと、それって自分だけじゃなくて、A君も、Bさんだって、そんなもんでしょ。だから、ひとつのうちのゴールの道のりが、苦しさや喜びを包み持つ、とっても味わい深い物であるのですね。そう思えなくても…ですよ。

自分の中の価値観(価値踏み、好き嫌い等)、許容量(許せる容量)、などが経験を通して各々のイノチが成長する度に、自分を許せる、認めるが増えると、人を許せる、認めるが正比例の様につながって、大きくなっている事に気が

が付きます。同じ人生の人も一人としていなくて、自分しか演じれない尊い人生を紡いでる訳でした。その自分の人生こそが自分のイノチを成長させるのに最適な最高の人生だと言う事なのでしょうね。自分がどうありたいのか…覚悟して自分をする…だけでした。こんなこと、書いてますが、これってすごい事だと思いませんか？

だって、この世では、他人との対比、より優れる事が良しとした中で染められていますから…ね！

まあ、なんかかや言っています、大敬先生の学びはスケールが大きいのでココには収まらないですねえ、笑、いつか、みんなで語りたいですね。時々、衝動に駆られます。ほんと！この指止すまればって感じですよ。笑。

私は、大空小学校初代校長の木村先生の存在を知った時、自分のイノチの奥で、何かが繋がったような気がしました。それは、大敬先生から学んできた事と同じ学びを木村先生に感じたからだと思います。二十余年の中で、こんな方に出会ったのは初めてでした。

子どもたちの事を考えて素晴らしい活動がされている方は多数居られますが、特別に、私

が突き動かされるものはありませんでした。それが何故、私の中でつながったのでしょうか？少しづつ根幹が見えて来たような気がします。

大敬先生に出会ってこんな風に考えるようになっていました。

いかに、私たちは枝葉を生い茂らせることばかりにエネルギーを注ぎ、そこがたわわになる事をしあわせと勘違いして比較競争の中で努力をしてきていたのだと。だから、自分がそうであったように、それが、家族の、子どもの、みんなのしあわせだ、と何の疑いもなく生きて来た時がありました。ま、と、今の、社会の在り方はこの形で形成されているのではないでしようか、自分を囲う壁がどんどん厚くなり息苦しくなって炎が消えそうになっているのが今の社会ですと大敬先生はお話されます。競争とか、努力とかが、今の自分が、一年後、二年後の自分を目標にしてするものだ、気が付いている人がどれほど居るのでしょうか？

A君やBさんや、C君と自分を比べていませんか？そして、彼らより先を行くことが目標になって、そうならないとダメな奴だと自分を蔑んでいませんか？親指と中指と人差し指が競争して居る様なものですよ。

しあわせって形がどこかにあるんだと勘違いしていないでしよつか？子どもに自分の価値観をもって伝えていませんか？

私は、子どもの頃から、周りの大人たちが、あの子とはあまり親しくならない方がイイよ、とか、あの子とは住んでる世界が違うから…とか、あの子は賢くて上品だから見習いなさい。そんな風に言われても、吾聞せずでした。みんな遊ぶのが楽しかったが、そのあげく…知らんぷりしていると、だから、あんたもしべ

が低くなるんよなんて言われるわけですよ。

どうも、おとな達の中には、ランクみたいなものがあるらしく、表だって言わなくても、陰で言ってる言葉をいくつも覚えていきます。

子ども心に、とっても嫌な気持ちになりました。お金持ちは意地悪だと思ってしまうした。

だから、私は困ってる人、弱い人の事ばかりが気になってしかたない人に育って行きました。そんな私は、優しいと言われ、慕ってくださる方が多かったように思います。

お金と地位とそんなものは、人をダメにするなんて思ったようです。お金を持つと嫌な人になるんだって、子どもの頃に感じて居たんだらうなあって、最近気が付きました。

こんな頃から、私は、お金を嫌ってたんでしよつか。お金を全然大切に出来ていませんでした。お給料でも売り上げでも、お金を握って、しあわせだなぁ、ありがたいなぁなんて思った事一度もなかったですね。今頃、気づく…お金さんが寄ってこない訳だ…

皆様も、自分がこだわっている事や、気になる事や、嫌な事って、どこかで作って来てますね。と思つたのですよ。

そんなつもりは更々ないのですが、色んなことを繋いで人生を考えてみると、なるほど…と思つた事が多々あるものです。今更ですが…笑。例えば、

「どんな人にも媚を売らないので、誰にも

同じでスゴイよね」とかも言われたりしました。なんか、偉そうにする人が嫌いでした。

地位、名誉が悪いと思つてしまつて、またもや嫌ってたんですね。…笑…だから、私の存在って、少しは、子ども達や地域の為になってるとは思いますが、役職なんてなにもなくて、酒屋のおかみさんな訳です…ははは！

育成会の会長や保護士や民生委員などって、地域には名誉職みたいな役職が有る訳ですが…明らかに、どの椅子も来ない訳ですよ。

酒屋のおかみさんな訳です！ははは！

これも、自分が望んでる訳ですね。今世では、この経験はパスしてる訳ですが、それとこれは別なんでしょう。ちいさな酒屋の無名のおばちゃんだけと、一緒に「みんなの学校、みんなの社会九州大会」の経験をして下さると言う、すごい方が次々に集まって下さる訳です。人事を尽くして、神事を待つ！と言う経験を私のイノチはさせて頂いています。

あれとこれは、それとこれも別な事ですね。だから、相手がどんな方であろうとも、敬意は表しますが、人としての私の中の関わりは、常にその人対私でした。誰に対しても、正直に自分の気持ちを伝えていきます。

それが、ありのままの自分なんです。身ぐるみ剥いだ自分なんです。

そこは黙ってた方が上手に付き合えるんだよって言われたりもしましたが、それは、自分をこまかすことになるので出来ませんでした。その代り、沢山の寂しい目にあいました。

例えば、気持ちがちぐはぐになってた時、私は正直に自分の思いを伝えるのですが、必ずしも、みんながみんな、分かり合う事を望んでいないのでした。面倒だと思ふ人も居るのですね。そこまで踏み込んで分かり合う必要性を感じて居ない人も居るんだと言ふ事を経験しました。または、向き合う事は悪い事だと思つてるのかも知れません。はぐらかされたり、スルーされたり、無視されたり…、何度撃沈した事か…[☆]苦笑い…[☆]

でも、最近、また気が付いたことがあって、分かり合う必要はなくて、認めれる自分になれば良いのだと言ふ事でした。認め合うと言ふ事は、自分を認める…と言ふ事でしたよね。認める事が出来ないと言ふ事は、自分を否定しているからと言ふ答えでした。

九割以上の人が赤く見えるものを、青と見えるから間違えである…はたして、そうでしょうか？青と見える人には、青が正解です。ね。なら、青と見える人から見ると、赤と見える人がバツテン×な訳です。認める事が自他共にとても大切な時期に入っているように感じています。

この前、つばさくん(十四歳の時に大敬先生の一弟子になった)が、近くまで来たからと顔を見せてくれました。彼は、三十代の若者です。でも、彼は、いつも、私にお土産を置いて帰ってくれます。その時は、ピンと来なくても、仏(ほどけ)てくると、すごい事を伝えてくれたんだなあって、気づきます。今世での肉体年齢

や、経験値は、私の方が多くでしょうが、魂年齢は、彼の方がはるかに大きいですね。視点の違いを見せてくれる、私自身も、広がるのを感じます。2〜3時間くらい、いろんな話をしてる中で、彼から、人生のスタートは七十歳だと言いますよ。こがっちはそろそろ終盤で思つたでしょ！。七十からが本当の意味での、役割を形にする時期で、そこから、スタートするのだと思います。「などと言ふ訳です。三十代の、若者が、そう言つてのける。ところが、それが、すと、瞬に落ちる私[☆]笑

そこを観察しながら、面白いな〜と、ワクワクしてる私。彼と私は、何かを決めて来てて、今、出合つてるのかも知れないです。でも、今は解らない。今は解らなくていい。

転職九回目の彼は、ありとあらゆる仕事や役職を通して、経験を積んでいます。どこに行つても業績を二倍三倍にします。そして、次の場所に移動する。子ども三人も居るけど、世間では、不安定な生き方と言ふかも知れないけど、彼だけの人生を生きてる。自分を信じてる。潔さが、覚悟がカッコイイです。

「ぎょ〜」と、今までこの発想はなかったよね〜と言ふ物を作りたいらしいです。アートを取り入れた物が出来そうです。彼は、やると思っていますよ。

こんな若者が居るって事がうれしいです。人は集めるんじやなくて、集まる。教えは広めるんじやなくて広まる。となっている。という名言を残して、彼は帰って行きました。[☆]

さてさて、話は、反れてしまいました。自分に関係が有る無しとか…興味の有る無しとか色々、思いはあるかとか…でもね、何か面白い事があるのかな？とか、こがっちはこんなに一生懸命に訴えてるのってどこにそんな魅力があるのかな？とか、こがっちはいつこいから…笑、とかでも、全然OKです。気にかけて欲しい〜。気にして欲しい〜。

大敬先生が、伝えてる事は、ひとつのちであって、それを、この現実世界で形にしているのが木村先生であって、そんなお二人の存在を知つて欲しい。同じことを言つてる、やつてるって事を感じて下さい。とっても、大切な事だと思ひます。

二十一世紀は、枝葉を茂らせることを勇氣をもつて手放し、イノチの根、こを見て育てるです。翌日、四月一日は、番外編の元氣アップ禪の会を開催します。菅原神社で9時45分から正午まで。初めて大敬先生のお話を聞かれる方も多いかと思ひますので、元氣アップ禪の会を体験していただくことと計画いたしました。皆さんも、31日夜の懇親会まで参加して、一緒に一泊二日しませんか？

ホテルは、二か所押さえてますので、ご希望がありましたらお尋ねください。
しあわせ森の家のHP内のショップで参加チケットをお買い求めいただけます。

そして、四月は二十二日が、第247回目の元氣アップ禪の会です。こちらは、会場が小石原森の家で予定しております。よろしくね〜